

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	屋内体育施設管理運営事業	所管	教育委員会教育総務部 生涯スポーツ課
			TEL 2998-9248

事業の目的 (何の為に 行うか)	スポーツ、レクリエーションの場として体育施設を利用に供し、広く利用者の健康増進、公共の場におけるマナーの向上、余暇の活用に寄与する。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	所沢市在住、在学(高校生以下を除く)、勤労者及び入間市、狭山市、飯能市在住者及び市外利用者	対象とした数	39,035	人
		実際に 利用した数	560,396	人

活動の内容 (何を したか)	①施設の利用については、あらかじめ利用カードを登録し、予約システムを利用して申し込みを受け付け、利用する。 対象:屋内体育施設8箇所、使用料:200円~9,600円(大人2時間) ②利用者が安全に、使いやすく、快適利用できるよう、施設の整備、維持管理を行う。受付業務・施設の修繕・事業用物品の購入、点検・施設用地購入・改修工事等								
	活動実績	項目名	施設利用件数	17837	項目名	施設利用人数	560396	項目名	施設使用料収入
			単位 件			単位 人			単位 千円

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	189,744	185,429	189,281	558.3

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明(計算方法等)	目標値	実績	達成率
	施設稼働率	利用件数÷利用可能件数 (屋内施設平均)	60 単位	30 単位	50.0 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕			
		終了 ⇒ 事業完了	終了	休止	
	予算	現状どおり	* 増額	減額	終了

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合評価	拡充 縮小 統合	改善・効率化	改善余地なし	その他〔 〕	終了
	予算	現状どおり	増額	減額	終了	

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名	事業コード	担当	部課コード	120400	16	2998-9248
120419	屋内体育施設管理運営事業	部課	教育委員会教育総務部 生涯スポーツ課			
開始年度	昭和 51 年度	→	終了年度	平成 年度		
グループ	スポーツ施設管理					

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令
	分野別計画・指針	所沢市スポーツ振興計画			スポーツ振興法、所沢市体育施設設置及び管理条例
	関連・類似事業	屋外体育施設管理運営事業、市民プール管理運営事業			
	総合計画の体系	政策	第4章 いきいきと学び 文化をはぐくむまち	人・施策	6節 生涯スポーツ
				中柱	3 生涯スポーツのための施設充実
				小柱	(2)地域スポーツ施設の整備・充実
		・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 24 位		・実施計画における位置づけ…	
				H19	<input type="radio"/> H20 <input type="radio"/>
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ	コード	3261	事務事業見直しの推進	コード
	事業開始の背景	市民の余暇の拡大に伴いその活用を図り、また健康増進に寄与するため、市民が快適に施設を利用することができるように設置し、運営を開始した。			

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的)	スポーツ、レクリエーションの場として体育施設を利用に供し、広く利用者の健康増進、公共の場におけるマナーの向上、余暇の活用等に寄与する。			
	対象(誰を、何を対象としているのか)	利用数の考え方			
	所沢市在住、在学(高校生以下を除く)、勤労者及び入間市、狭山市、飯能市在住者及び市外利用者	利用者の延べ人数を記載			
	対象数	単位	平成 18 年度	36,465	人
			平成 19 年度	39,035	人
	事業の具体的な内容及び実施方法	単位	平成 18 年度	574,406	人
			平成 19 年度	560,396	人
	①施設の利用については、あらかじめ利用カードを登録し、予約システムを利用して申し込みを受け付け、利用する。 対象:屋内体育施設8箇所、使用料:200円~9,600円(大人2時間) ②利用者が安全に、使いやすく、快適利用できるよう、施設の整備、維持管理を行う。受付業務・施設の修繕・事業用物品の購入、点検・施設用地購入・改修工事等				

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)	最終評価	<input type="checkbox"/> 一次評価	<input type="checkbox"/> 二次評価
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])		
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
	平成19年度中に改善した点	施設内の携帯電話の電波改良のためアンテナを設置した。		

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		148,595	189,744	213,005	
	決 算 (見込み含む)		138,803	185,429		
	(嘱託職員) (臨時職員)	(6.00 人)	(1.00 人)	(6.00 人)	(0.75 人)	
	正規職員人件費	0.70 人	6,440	0.41 人	3,852	
	公債費					
	事業費合計		145,243	189,281		
	財源内訳	一般財源		64,434	114,407	132,797
		国・県支出金				
		受益者負担金		80,809	74,874	80,208
市債						
その他						
市民一人当たり(単位:円)		429.9	558.3			
利用数一単位あたり(単位:円)		252.9	337.8			

⑥指	活動実績	項目名	延べ利用件数	延べ利用件数	単位	件	H 18	32,873	H 19	17,837	H20見込み	50,000	将来目標	50,000
		延べ利用人数	延べ利用人数	単位	人		574,406	560,396	600,000	871,000				
		施設使用料収入	延べ使用料収入額	単位	千円		80,808	75,448	80,000	82,000				
	成果分析	施設稼働率	利用件数÷利用可能件数(屋内施設平均)	目標値	60	60	60	80						
			実績	54	30	実績値の拡大を図る1		1						
			%	達成率	90.0	50.0	実績値の縮小を図る2							

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input checked="" type="checkbox"/> 対象を拡大する <input type="checkbox"/> 見直しの必要なし		正規職員、嘱託・臨時職員等及び委託社員
		<input type="checkbox"/> 見直しの必要性なし		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無
	<input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし			<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	明らかとなった課題	閉館より5年が経過し、施設(体育館フロアー及び備品類)のメンテナンスが必要である。(安全面・経費削減)		
	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	
	平成20年度における目標設定	メインアリーナの床修繕	ラインテープの貼り替え、床のささくれ防止	平成20年度
	平成21年度における事業の方向性	総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])		
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
	評価理由	多様化してきているスポーツに対応できるように、施設の利用方法を幅広く受け入れられるような体制を検討・実施していく。また、利用者が安心して利用できる施設の管理・運営をして行く。このため予算は増額とした。		
	評価日	平成20年5月13日	記入者職氏名	生涯スポーツ課長 中村 藤司

⑧二次評価	一次評価	平成21年度における事業の方向性						
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了						
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
	評価理由							
⑨個別計画における方向性	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
		見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
		評価理由	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
		評価日						

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	基本目標			
	主要課題			
	施策の方向			